

**「千葉市食べきりキャンペーン～おうちで野菜を食べきろう～」を実施します
～千葉市地方卸売市場で啓発品を配布します～**

千葉市では、食品ロスの削減を推進するため、千葉市地方卸売市場にて「千葉市食べきりキャンペーン～おうちで野菜を食べきろう～」を実施しますので、お知らせします。

なお、本キャンペーンにおいて千葉市地方卸売市場での実施は初の取り組みとなります。

1 趣旨

本来食べられるにも関わらず、捨てられている食べ物（食品ロス）は全国で約523万トン発生しており、全国的な課題となっています（農林水産省令和3年度推計値）。

食品ロスのうち約半分（約244万トン）は家庭から排出されており、その大きな要因は、野菜の皮や茎など食べられるところまで捨ててしまう「過剰除去」、料理を食べきれずに捨ててしまう「食べ残し」、消費期限等が過ぎ食材として使われずに捨ててしまう「直接廃棄」の3つです。

また、家庭内の冷蔵庫で保管されている食品のうち、食べきれずに廃棄されることの多い食材の一つが野菜類です。

本キャンペーンでは、千葉市地方卸売市場の市民感謝デーにおいて、啓発品として野菜専用鮮度保持袋と食品ロス削減に関する啓発冊子を配布し、野菜をはじめとする食材を食べきることを呼びかけ、食品ロスの削減および食べ物を「ごみ」としない意識の醸成を目指します。

2 実施日時

令和6年3月9日（土）8：15開始

※啓発品が無くなり次第終了

3 実施場所

千葉市地方卸売市場 関連棟 C棟（美浜区高浜2-2-1）

4 啓発品**(1) リーフレット**

「マンガでわかる食品ロスについて」

※九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会ホームページにも掲載しています。

【URL】<https://www.re-square.jp/eco/foodloss/>

**(2) 野菜専用鮮度保持袋**

冷蔵庫の野菜室で野菜や果物などの食品の鮮度を保持しながら、保存できる袋です。汚れを洗い、繰り返し使うことができます。



リーフレットイメージ

<参考>九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会について

1 目的

九都県市の知事および市長が長期的展望のもとに、共有する膨大な地域活力を生かし人間生活の総合的条件の向上を図るため、共同して広域的課題に積極的に取り組むことを目的としている。

2 構成員

埼玉県、千葉県、東京都および神奈川県知事ならびに横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市および相模原市の市長